



森のアスレチックで楽しそうに遊んでいました



保護者も夢中になってつるで籠を作っていました



上手にできるかな（ソーラーカー作り）



鶴田ダム堤内を見学しました



森と湖に親しむ集い

約270人が自然に親しむ

森と湖に親しむ集いが、7月25日（金）鶴田ダム周辺で開催され、薩摩郡内をはじめ、川内市、大口市、宮崎県えびの市などから約270人の親子連れが参加し、森林体験やダムの見学など夏休みの1日を楽しみました。

森と湖に親しむ集いは、森林やダム等の重要性について理解を深めてもらうことを目的に、毎年7月21日から31日までを「森と湖に親しむ旬間」と定めてあることにちなんで開催されているもので、今回で15回目となります。

開会式後、それぞれのグループに分かれ、森林教室では、森の役割についてなど分かりやすく紙芝居を使って説明がありました。その後、木の名前を当てるクイズがあり、そのほとんどが北薩地方にある木だと説明を受けるとみんな感心していました。

ウッドクラフトでは、今回から巣箱作りを行いました。それぞれ5、6人のグループに分かれて指導を受けながら作りました。はじめは、ぎ

こちない手つきで釘を打ったり、のこぎりを引いたりしていましたが、係の指導を受け、みんな上手に作り上げていました。また、保護者はつるで籠を編み、子供以上に夢中になっていました。

ダム内部見学では、ダムの堤内の見学が行われ、ダムの内部を見学した子供たちからは「ひんやりして気持ちいい」「クーラーの中みたい」と堤内の涼しさに驚いていました。

ダム管理所では、ソーラーカーを作成し、子供たちは四苦八苦しながら作り上げ、太陽の光を浴びて走る自作のソーラーカーに大変喜んでいました。

暑い中での開催となりましたが、子供たちもそれぞれ楽しい夏休みの思い出になったことでしょう。

大鶴の森（遊々の森）調印式



握手を交わす町長と北薩森林管理署長

大鶴の森（遊々の森）の調印式が、森と湖に親しむ集いの休憩時間を利用して行われました。これは、林野庁が進めている事業で、学校の週5日制に伴い、国有林を子供たちの遊びの場として提供することを目的に始まった事業です。県内では、屋久島に次いで2番目の指定となりました。場所は、県道鶴田大口線沿いの国有林です。本町では、「大鶴の森」と命名されました。式では、鶴田町長と北薩森林管理署長が調印を行い、命名記念の標柱を立てました。

鶴田小学校5年 前田智子さん

今年で4回目の参加になります。去年はソーラーカーがうまくできなかったけど、今年はいまよくできました。夏休みのいい思い出になりました。また参加したいです。今日はいろいろ指導して下さいありがとうございました。



宮之城町 蔵迫弘恵さん(保護者)

関係者の方々のおかげで楽しい1日が過ごせました。初めて鶴田ダムに来ましたが、ダム周辺の自然の雄大さに驚きました。自然の大切さを感じました。自分たちも自然を守れるようにしていきたいです。また、子供たちの作った巣箱を見に来たいです。

参加者のひとこと！

